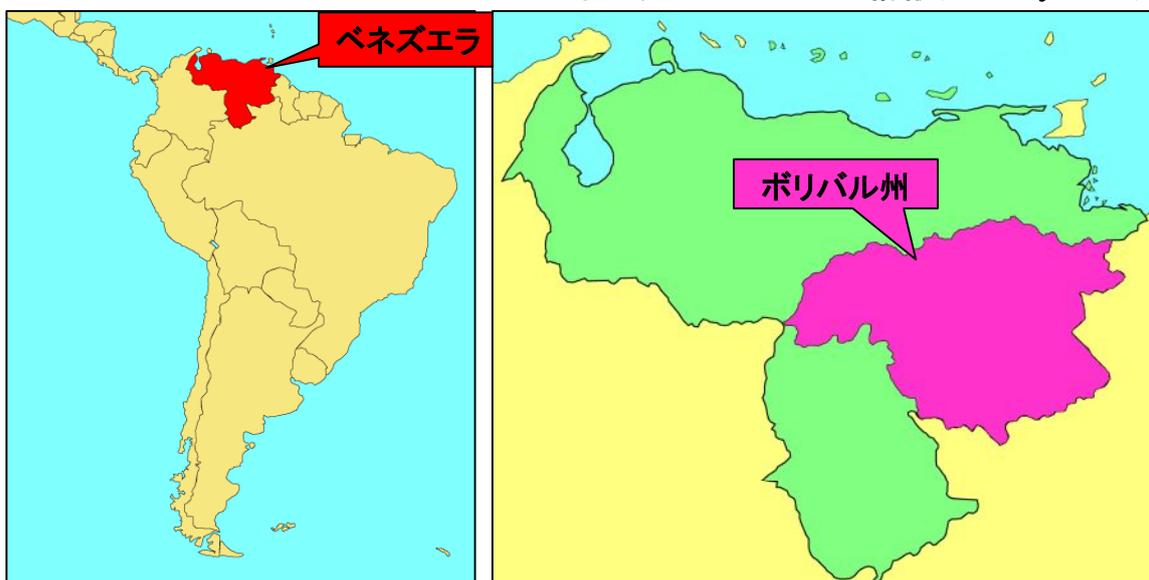


ベネズエラでマラリアが流行

2010年6月6日 ProMED 情報(Mercury News)



2010年、ベネズエラのマラリア患者数は増加しています。これは、南部の辺ぴなジャングルでの無謀な金採掘者における感染の多発が原因です。

同国保健省による今週の統計では、2010年のこれまでのマラリア患者数は21,601名で、昨年の同期の10,758名から2倍の増加です。患者の大多数を占める19,750名は、ボリバル Bolivar 州南部で診断されました。

鉱夫たちは、金とダイヤモンドを求めてマラリア媒介蚊が生息する森林に分け入る結果、この病気を長期間患っています。鉱夫たちは露天掘りを行うことにより森林を虫食い状に破壊し、泥だらけの水溜まりと金を分離するために使用した水銀で汚染された汚水を残します。

ベネズエラのボリバル州は長い間マラリア流行の中心地で、最近数年間患者数が増加してきました。国全体としてはこのまま患者発生が続くと、2010年の患者数は2009年の35,725名を超えると予想されています。